

江戸グルメ紀行 招いし浮世絵展

鮎・そば・天麩羅…江戸のファストフードから

高級料亭の会席料理ブームまで



2021.12.14(火)～2022.2.27(日)

◆休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・年末年始(12.28～1.3)

学芸員のギャラリートーク ①12月25日(土) ②1月15日(土) ③2月12日(土) 各13:30～14:30 自由参加、ただし入館料はかかります。

南房総きよなんの浮世絵ミュージアム
菱川師宣記念館
HISHIKAWA MORONOBU UKIYOE MUSEUM

〒299-1908
◆アクセス

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎0470-55-4061
電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分
国道127号線沿い 道の駅きよなん内

◆開館
◆入館料

9:00～17:00(入館16:30まで)
一般・大学生 500円(400円) 小・中・高校生 400円(300円)
()内は団体20名以上料金



①



②



⑤



③

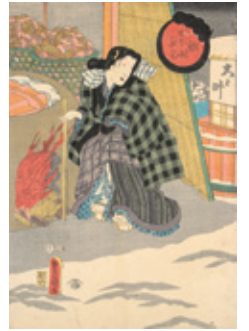
江戸の 抱ひむい 浮世絵



⑥



⑦



⑧

江戸時代は、泰平の世を謳歌する人々が様々な文化を作り上げていきました。特に食文化は、美味を追求し様々な広がりを見せます。鮎、そば、天麩羅、うなぎ、初鰹などから桜餅、焼芋、水菓子（果物）などのスイーツまで、現在に見られる日本の食文化は、まさに江戸で生まれました。

また江戸人のグルメ志向は外食産業、特に粋な料亭文化へも傾倒していきます。浮世絵では「東都高名會席盡」や「江戸高名會亭盡」などに見られるように料亭文化が花開き、江戸のミシュラン・ガイドともいべき役割を果たしていました。

この展覧会は、江戸で生まれた食文化にスポットをあて、江戸のグルメを楽しむ人々の姿を追いながら、浮世絵版画に描かれた様々な江戸の食について紹介します。



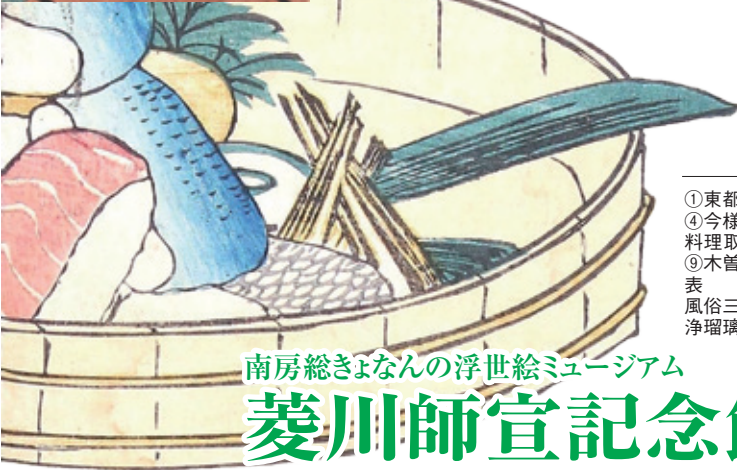
④



⑨



⑩



南房総きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

千葉県安房郡鏡南町浜516 TEL 0470-55-4061
◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
電車 富津館山道路 鏡南保田IC下車 国道127号沿い 道の駅きよなん
◆開館時間 9:00~17:00 (入館16:30まで)
◆入場料 一般・大学生500円 小中高生400円 (団体20名以上 100円引)
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策をおこなっています。

入館割引券
このチラシご持参の方
2割引
(1グループまで)

- ①東都高名會席盡 植半 ②東都高名會席盡 海老屋 ③江戸名所百人美女 長命寺 (桜餅)
 - ④今様三十二相 今にありがた相 (枝豆) ⑤両国夕景一ツ目千金 (ぼたん鍋) ⑥日々徳用俊約 料理取組番付 ⑦十二ヶ月の内 四月ほどとぎすかつお (初鰹) ⑧銀世界詠千金 (焼芋)
 - ⑨木曾街道六十九次之内 守山 達磨大師 (そば) ⑩東海道中膝栗毛 (宿食事)
- 表
風俗三十二相 むまう (天麩羅) 東都高名會席盡 燕々亭 (鮎) 鬼あざみ清吉 (二八そば)
浄瑠璃町梨花之図 (茶飯)

